

プロファイル作成アドオンについて

はじめに

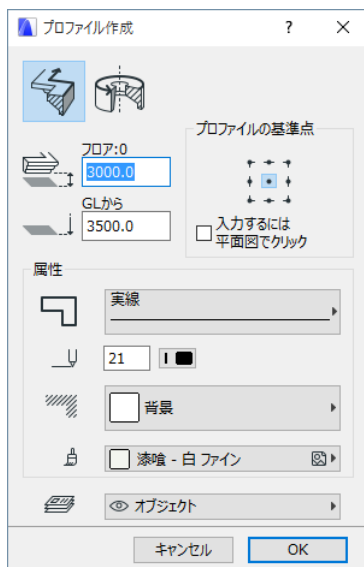
プロファイル作成アドオンでは、プロファイルを直線パスまたは曲線パスに沿って押し出すことで、オブジェクトタイプのライブラリ部品を作成できます。

新しい [プロファイル作成] コマンドはデフォルトで [デザイン] → [デザイン補助] サブメニューに表示されます。

プロファイル作成アドオンの使用方法

オブジェクトの作成方法：

1. [平面図] ウィンドウで、Archicad の任意の組み立てツールおよび描画ツールを使って、押し出したいプロファイルを描画します。複雑な形状を押し出すには、複数の要素をグループ化します。
2. プロファイルを選択して、[デザイン] → [デザイン補助] メニューから [プロファイル作成] を選択します。
3. 表示された [プロファイル作成設定] ダイアログボックスで、適切なオプションを選択します。



- ダイアログボックスの一番上にあるボタンを使って、直線図形作成法と曲線図形作成法のいずれかを選択します。
 - 配置基準点の高さを設定します。
 - 配置基準点を選択するか、[平面図をクリックして入力] チェックボックスをチェックして、配置基準点を図面上で定義します。
 - 新しいオブジェクトの属性（輪郭線の線種、ペンカラー、塗りつぶしパターン、材質）を設定し、レイヤーに割り当てます。
 - [OK] をクリックします。
4. [平面図をクリックして入力] を選択した場合は、平面図をクリックして配置基準点を指定する必要があります。
 5. 曲線壁やポリウォールを描画するのと同じ方法でパスを定義します。
 6. オブジェクトを保存します。

既に描画されたパスや軸を使ったオブジェクトの作成方法：

1. プロファイルとパス / 軸の両方を描画し、2つの別々のグループとして選択します。
2. [デザイン] → [デザイン補助] メニューの [プロファイル作成] コマンドを選択します。[プロファイル作成設定] ダイアログボックスが表示されます（上記を参照）。
 - 正しい図形作成方法が設定されていることを確認します（直線パスが軸になったり、その逆に軸が直線パスになることがあります）。
 - 配置基準点の高さを設定します（軸を中心にプロファイルを回転させる場合、高さは軸の最下点を表します）。
 - 属性を設定し、オブジェクトのレイヤーを選択します。
 - [OK] をクリックします。
3. オブジェクトを保存します。

注記：

- 直線図形作成方法では、配置基準点をクリックする必要があります。配置基準点はプロファイルの点でなければなりません。ただし、プロファイルの外側ではあってもプロファイルにグループ化されているホットスポットでもかまいません。
- 曲線図形作成方法では、2回クリックする必要があります。最初のクリックで軸の最下点の位置を定義し、2回目のクリックでオブジェクトを傾ける方向を指定します（軸を傾けない場合、1回クリックするだけです）。
- プロファイルは上向きに描画し、回転させないでください。
- Y軸に平行に描画した軸は垂直とみなされます。軸が傾いている場合、オブジェクトは傾いて配置されます。
- パスを描画する場合、プロファイルの方向は線の描画方向によって決まります（プロファイルの方向は、[オブジェクト設定] ダイアログボックスで後から変更できます）。

免責事項：

Goodies は Archicad の基本機能に加え、特定の機能提供するために GRAPHISOFT が開発した無料のアドオンです。Archicad 20 以降より、Goodies Suite インストーラから全ての Goodies を一度にインストールできます。これらは GRAPHISOFT がもうサポートしていないレガシーコードに基づいています。自由にご利用いただけますが、正しく機能しない可能性があり、修正やアップグレードはできません。